

アクセルをより知っていただくためのIRマガジン

Axell

R e v i e w

第29期中間報告書

2023.4.1 ▶ 2023.9.30

テクノロジーで、
未来への加速度をあげる。

MISSION

洗練された製品・サービスの創造を通じ、
世の中の革新に貢献しよう

VISION

先端テクノロジー企業として、
グローバルに活躍することを目指そう

VALUES

顧客の満足を第一としよう
プロフェッショナルとして挑戦することを楽しもう
多様性を尊重し、仲間と、より大きな事を為そう
スピードを上げよう

社長ごあいさつ

既存事業での安定収益確保と新規事業での事業拡大を推進します。

当中間期は、主力市場であるパチンコ・パチスロ機市場において、スマートスロットの市場投入の影響などにより回復傾向が見られ、堅調に推移したものと分析しています。こうした中で当社グループは、引き続き安定収益確保のための対応を積極的に進め、パチンコ・パチスロ機向けグラフィックスLSIやメモリモジュール製品等の主力製品において大幅な販売増を実現し、前年同期を上回る業績を上げることができました。また、新規事業関連では早期の成長を目指し、特にAIやWeb3領域、組み込み機器向け製品を中心にグループ全体で積極的な取り組みを推進してきました。通期では、引き続きパチンコ・パチスロ機市場が堅調に推移する中、お客さまの需要動向による好調な受注状況等も鑑み、業績予想の上方修正を行いました。今後も当社グループは目標達成に向けた各種戦略を実行してまいります。株主の皆さまには引き続きのご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。



代表取締役社長
斉藤 昭宏

業績のご報告

当中間期の業績について

「LSI開発販売関連」セグメントは、売上高が前年同期比33.0％増の8,962百万円（同2,225百万円増）、セグメント利益は同53.7％増の2,068百万円（同722百万円増）となりました。これは、主力製品のパチンコ・パチスロ機向けグラフィックスLSIの販売が前年同期より11.9万個増の36.2万個となったことに加え、メモリモジュール製品やLEDドライバなどの販売も前年同期を上回ったことによるものです。

「新規事業関連」セグメントは、組み込み機器向け製品に向けたグラフィックスLSIの販売拡大、AI領域の規模拡大に努めたものの、当中間期は売上高が同18.4％減の264百万円（同59百万円減）、セグメント損失は204百万円（前年同期は135百万円の損失）となりました。

以上の結果、当中間期は売上高が9,226百万円、売上総利益は2,995百万円となりました。販売費及び一般管理費は1,518百万円、うち研究開発費は781百万円でした。これにより、営業利益は同70.8％増の1,476百万円（同611百万円増）、経常利益は同65.0％増の1,474百万円（同580百万円増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は同50.2％増の1,053百万円（同352百万円増）となりました。

また、当中間期末の財政状況は、流動資産13,101百万円、うち現金及び預金は7,121百万円、自己資本比率は82.4％で、引き続き健全

第29期中間期の連結業績結果 (百万円)			
	前中間期実績	当中間期実績	増減率
売上高	7,061	9,226	31%
売上原価	4,793	6,231	30%
売上総利益	2,267	2,995	32%
販売費及び一般管理費	1,402	1,518	8%
営業利益	864	1,476	71%
経常利益	893	1,474	65%
親会社株主に帰属する四半期純利益	701	1,053	50%

性を維持しています。

通期の連結業績について

通期の連結業績は、2023年5月9日に業績計画を公表しましたが、その後の業績動向を踏まえて11月8日に上方修正を行い、売上高は17,100百万円（計画比10.8％増）、営業利益は2,250百万円（同49.0％増）、経常利益は2,250百万円（同47.1％増）、親会社株主に帰属する当期純利益は1,580百万円（同43.6％増）とそれぞれ修正しました。

修正の主な要因は、現在までの受注状況や顧客の需要動向、その他生産面の影響等を精査した結果、当初53万個の販売を計画していたパチンコ・パチスロ機向けグラフィックスLSIの販売が約65万個まで拡大し、メモリモジュールやLEDドライバなどの販売も計画を上回る見通しとなったことによるものです。これは、主力市場であるパチンコ・パチスロ機の新台年間販売台数が、当初想定150万台から155万台へ拡大する見通しとなったことに加え、グラフィックスLSIのリユース比率が当初想定より低下する見通しとなったこと等によるものです。

当期末の配当につきましては、業績計画の修正に伴い、当社の株主還元方針（配当性向50％）を踏まえて1株当たり普通配当72円（計画比21円増）へ上方修正しました。

通期連結業績計画 (百万円)			
	前期実績	当期通期計画 (上方修正後)	増減率
売上高	14,474	17,100	18%
売上原価	9,928	11,600	17%
売上総利益	4,546	5,500	21%
販売費及び一般管理費	2,931	3,250	11%
営業利益	1,614	2,250	39%
経常利益	1,813	2,250	24%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,353	1,580	17%

今後の取り組みについて

LSI開発販売関連では、主力市場であるパチンコ・パチスロ機市場が堅調に推移する中、顧客との間で固く築かれた信頼関係を基に、当社独自の技術力とサポート体制等を最大限生かすことで引き続き顧客からの多様なニーズや細かな要望を的確に捉え、安定収益の確保に努めていきます。

新規事業関連では、中長期的にLSI開発販売関連と同程度の規模に育成する目標を掲げていますが、これを早期に実現させるため、既存事業で培った当社グループの優位性である総合的な技術力を最大限生かした事業活動を積極的に行うとともに、出資・M&Aなども積極的に検討します。特にAI領域においては、ax株式会社とともに事業拡大への取り組みを積極的に進め、独自開発のAIフレームワークailia SDKを核としたAIソリューションの展開を引き続き強化します。さらに、当中間期において2025年大阪・関西万博における落合陽一氏プロデュースのコンテンツ開発への技術協力や、筑波大学等とのAIプログラミングコンテストの共同開催などを実施しましたが、今後もこのような幅広い活動を積極的に展開していきます。その他、ブロックチェーン領域では、2030年に向けて年平均40％を超える成長が見込まれ、今後の社会変革を実現し、幅広い分野での応用が期待される技術と考えられているWeb3関連の研究開発に注力します。当社グループは、こうした積極的な取り組みに

通期連結業績計画に対する中間期の進捗 (百万円)			
	当中間期実績	当期通期計画	進捗率
売上高	9,226	17,100	54%
売上原価	6,231	11,600	54%
売上総利益	2,995	5,500	54%
販売費及び一般管理費	1,518	3,250	47%
営業利益	1,476	2,250	66%
経常利益	1,474	2,250	66%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,053	1,580	67%

よって株主の皆さまの期待に応えられるよう努めていきます。今後も引き続きのご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

Column 1

配当予想の上方修正をお知らせします

	年間配当金 (円)		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想	0円	51円	51円
今回発表予想	0円	72円	72円
当期実績	0円	—	—
前期実績	0円	78円 (普通配当62円) (記念配当16円)	78円 (普通配当62円) (記念配当16円)

業績計画の修正に伴い、配当性向50％の株主還元方針にもとづいて配当予想を修正しました。修正後の普通配当における連結配当性向は49.7％になります。

Column 2

株主優待制度を導入しています

投資先としての魅力向上で知名度を高めるとともに、当社株式を長く保有してもらうことを目的として、株主優待制度を導入しています。具体的な株主優待の内容は以下のとおりです。保有株式数、継続保有期間に応じてクオカードを贈呈します。

保有株式数	継続保有期間及び優待内容		
	1年未満	1年以上 5年未満	5年以上
100株以上500株未満	—	クオカード500円	
500株以上	—	クオカード 500円	クオカード 3,000円

●毎年3月31日現在の株主名簿に記載又は記録された株主さまで、上記の継続保有期間及び保有株式数に該当する株主さまを対象とします。
※継続保有期間1年以上とは、毎年3月31日及び9月30日の当社株主名簿に同一の株主番号で、3回以上連続して記載又は記録された株主さまとします。
※継続保有期間5年以上とは、毎年3月31日及び9月30日の当社株主名簿に同一の株主番号で、11回以上連続して記載又は記録された株主さまとします。なお、保有株式数については、直近の基準日時点の保有株式数にて判定します。

AI事業の開発事例

開発事例①リアルタイムAI音声認識ライブラリ

オフラインでも利用可能なAI音声認識ライブラリ「ailia AI Speech」をリリース

高速AI推論フレームワークであるailia SDKを使用して、高精度なリアルタイム音声認識を実現できる「ailia AI Speech」を開発しました。大きな特徴のひとつとして、オフラインでも動くためネットワーク接続による情報漏洩リスクを抑え、安全・安心に記録することが可能です。そのため、医療などのプライバシーや情報管理が重視される分野でも活用することができます。また、声（音声）を入力すれば文字起こしができるため、手袋をして作業する環境下でメモを取りたいなど、作業現場や日常生活においても作業効率の向上が期待できます。その他、あらゆるデバイスに対応するとともに、マルチリンガルのAIモデルを使用しているため、多言語認識かつリアルタイム翻訳が可能です。当社ではこうしたビジネスの効率化に貢献するAI機能を今後も開発・製品化していきます。

■特徴

オフラインで安全に記録可能。
情報漏洩のリスクを抑える

多様なプラットフォーム・デバイス
でも動作可能

手がふさがった環境でも声（音声）
入力で文字起こし記録が可能

etc.

開発事例②完全自動運転チップ

独自開発のチップを自動運転タクシーに搭載して有効性を実証

株式会社ティアフォーと連携して、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）公募事業の一環として開発した完全自動運転に特化したシステムオンチップの試作品を、自動運転タクシーに搭載して実証実験を行いました。本チップは、ティアフォーが開発した世界初の自動運転用オープンソースソフトウェア「Autoware」を低消費電力（既存装置の1/10の消費電力）でリアルタイム処理できる独自開発のLSIです。今回、路上駐車車両の回避や先行車の追従などの基本的な試験を実施し、各機能が有効に動作していることを確認しました。この成果を今後の研究開発に反映するとともに、ティアフォーと今後も緊密に連携し、スマートモビリティ分野の事業拡大を目指していきます。



▲自動運転タクシーによる実証実験の様子

TOPICS

AI活用事例①出資・技術協力

大阪・関西万博 落合館のコンテンツを制作する企業に出資

2025年大阪・関西万博で落合陽一氏がプロデュースするシグネチャーパビリオンのコンテンツを制作し、継続的に社会で活用されるためのプラットフォーム構築に取り組む目的で設立された株式会社サステナブルパビリオン2025への出資を決定しました。同社は、パビリオンで展開するコンテンツのひとつでデジタルIDと物理的IDが一体となった究極のID基盤である「Mirrored Body®」を開発しています。これは最先端のAIやブロックチェーン技術を駆使し、デジタル社会における利便性向上を目指すもので、当社は強みであるエッジ領域でのAI実装・AIモデル開発並びにブロックチェーン関連の技術協力をを行っています。同社は今回の資金調達により、「Mirrored Body®」の開発拡大とプラットフォーム構築の事業を加速していく方針です。



AI活用事例②次世代支援等

AI処理の高速化に関するプログラミングコンテスト「Axell AI Contest 2023」を開催

当社、筑波大学、キャンパスOJT型産学連携教育推進財団は共同で、学生を対象としたAI推論処理の高速化をテーマにしたプログラミングコンテスト「Axell AI Contest 2023」を開催しました。本コンテストは、AI技術の発展と次世代人材の育成を通じて社会貢献を目指すとともに、学生に実践的なAIプログラミングの機会と現役AIエンジニアとの交流の場を提供。技術力向上とキャリアビジョンを支援します。結果として、コンテストには筑波大学に在籍する76名が参加し、入賞者には賞金が授与されました。今後は対象を全国の学生に広げて、多くの才能を発掘し、成長をサポートしていきたいと考えています。



▲表彰式の様子



会社概要	
設立年月日	1996年2月1日
資本金	10億28百万円
社員数	97名(アクセル単体)
事業内容	●半導体集積回路及び半導体集積回路を組み込んだプリント基板の設計、製造、販売 ●画像・音声・機械学習等に関する要素技術の研究、開発、販売 ●情報セキュリティに関する要素技術の研究、開発、販売 ●ブロックチェーンに関する要素技術の研究、開発、販売 ●インターネットを利用した各種情報提供サービス業 ●ソフトウェアの開発、販売 ●前各号に関する応用機器の設計、製造、販売 ●古物売買業 ●前各号に付帯する一切の事業
取締役	取締役会長(代表) 松浦 一教 取締役社長(代表) 斉藤 昭宏 常務取締役 客野 一樹 取締役 岸本 貴臣 取締役 菊地 篤志 取締役(監査等委員) 五十島 滋夫 取締役(監査等委員) 三村 勝也 取締役(監査等委員) 鈴木 真巨 取締役(監査等委員) 西坂 禎一郎 ※監査等委員は全員独立社外取締役です。 ※五十島滋夫氏は常勤の監査等委員です。
所在地	〒101-8973 東京都千代田区外神田四丁目14番1号 秋葉原UDX 南ウイング10階 TEL:03-5298-1670 FAX:03-5298-1671
グループ会社	ax株式会社 aimRage株式会社
URL	https://www.axell.co.jp/

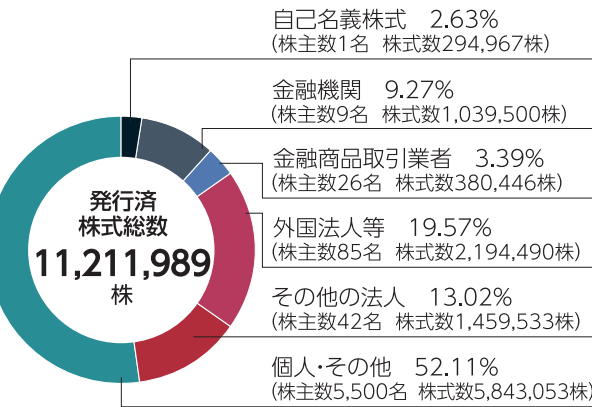
株式の概要

発行可能株式総数	23,112,000株
発行済株式総数	11,211,989株
株主数	5,663名

株主の状況

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
緑屋電気株式会社	849,000	7.57
柴田 高幸	644,800	5.75
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	623,500	5.56
市原 澄彦	595,800	5.31
松浦 一教	417,310	3.72
BNYM SA/NV FOR BNYM FOR BNYM GCM CLIENTACTCS M ILM FE	410,087	3.65
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE IEDP AIF CLIENTS NON TREATY ACCOUNT	368,000	3.28
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	333,700	2.97
株式会社アクセル	294,967	2.63
株式会社アパールデータ	260,000	2.31

所有者別分布状況



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月
基準日	3月31日 (その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします)
期末配当金	3月31日
受領株主確定日	(中間配当を実施する場合は9月30日)
公告方法	電子公告により当社ホームページ(https://www.axell.co.jp/)に掲載いたします。 ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座	
口座管理機関	
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711(通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

お知らせ

株式に関するお手続きについて

- 株主さまの住所変更、配当金の振込指定、その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 配当金の口座振込のご指定につきましては、お手続きは配当金振込指定書を各口座管理機関を経由してお届けいただくこととなっております。従来同封いたしておりました当社専用の「配当金振込指定書」は同封を取りやめております。振込指定のお手続きにつきましては詳しくは各口座管理機関にお問合わせください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



©Expo 2025

アクセルは大阪・関西万博のシグネチャーパビリオン「nuliP」パートナーです。